

安全人報誌

全国安全週間

全国安全週間は、昭和三年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に続けられています。

三月十一日に発生した東日本大震災では、多くの人命が失われ、東北地方を中心に未曾有の甚大な被害となった。被災地が一日も早く安全に復興するとともに、働く人が仕事に働きがいを感じ、その家族が安心して暮らせる元氣な日本を創ることであり、そのためには、産業界においては、企業を支えるのはそこで働く人であること、安全に働くことは企業の力の源泉であり家族が安心して暮らせる大前提であることが再認識し、家庭や社会と対話をしながら安全活動を展開していく必要があります。労働災害の発生状況をみても、県内では十八人の尊い命が働



安衛委 No.114
平成23年6月3日
安全衛生推進委員会

者は、千六百五十五人の方が申請されております。本週間に契機に、日常実施している安全活動を見直すとともに、「三大災害」墜落・転落災害、建

設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害の防止をはかり、これから発生する熱中症の予防に重点を置き、安全週間を無事故でお願いいたします。

◎安全週間
七月一日から七月七日まで
◎準備期間
六月一日から六月三十日まで

平成二十三年度安全標語

言葉に出そう
皆でやろう
危険予知

熱中症に注意

これからの時期は汗をかくことが多くなってきました。汗をかいたら必ず水分補給をして下さい。

水分補給を怠ると、体の不調を起し脱水症状となり、脱水症状が悪化すると熱中症になってしまいます。体の不調を起す前に水分をとることが大事ですが、水だけをとり、吸収のスピードはあまり良くありません。吸収スピードを良くするには、塩分と一緒に摂取することです。薄い塩水を飲



各現場での安全対策又はヒヤリ体験談

南町通仲上線道路改良舗装工事を担当した近内隆政さんです。

今回の南町通仲上線の現場の安全について報告します。現場の問題点としては、①道路幅員が狭く、工事中に片側交互通行

の作業でも、一般車両の通行が大変なこと。②施工延長が長く安全対策に気を遣わないといけないこと。①については、片側交互通行で作業をしていたのですが、施工箇所と車道の間コーンを設置すると車道幅員が確保出来ず、バックホウと一般車両がぎりぎり通過する場面が何度かあり、そのときには誘導員を配置して対処しました。②については小学生の通学路にもなっているので施工箇所の侵入対策を実施し、危険な箇所がある場合には、気づいた箇所や足らない部分について朝礼や作業終了前に確認してできるだけ対策を施しました。全体的な安全対策としては、まだまだ不十分な点も多く課題も残っています。その地域で

生活する人、道路を通行する人、すべてに気を配り、工程を守って工事を進めていく難しさを感じました。

